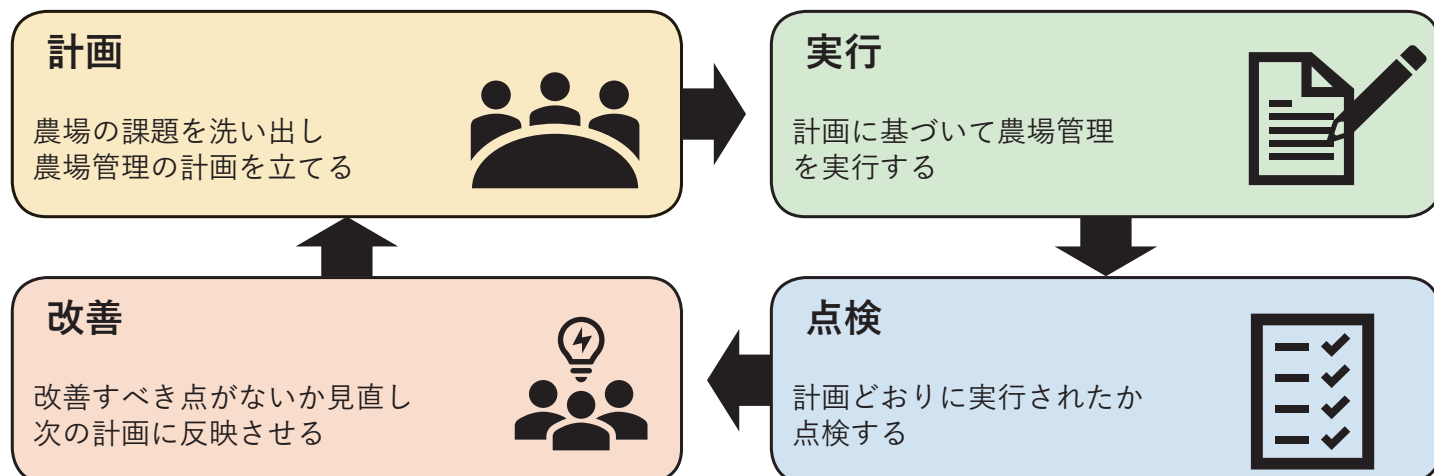


## GAPは持続的な改善活動



## GAPは何から始めればいいのか？

### STEP1

#### GAPに取り組む目的を明確にします

- 農場や産地の経営方針、ぎふ清流GAPに取り組む目的を明確にします。

### STEP2

#### リスク評価で、農場の課題を洗い出します

- 課題を洗い出すために、最初に行うのが「リスク評価」です。
- リスク評価とは、農場に潜む様々なリスク（危害要因）について、「危害の大きさ」と「発生頻度」からリスクの大小を判断することです。
- リスクの大小は農産物や農場の状況によって変化しますので、管理方法に変化があった時だけでなく、少なくとも1年に1回はリスク評価の見直しをします。

### STEP3

#### リスクを下げるための管理手順書を作成します

- リスクを小さくする対策や手順を考え、文書化します。
- ぎふ清流GAP農場評価規準の内容を確認し、手順書に反映させます。

### STEP4

#### 手順書に沿ったGAPの実践と自己点検を行います

- 手順書に沿ってGAPの実践をします。
- 自己点検を行い、手順書に沿ったGAPの実践ができているか確認します。

### STEP5

#### 管理手順書の見直しとGAPの実践を繰り返し行います

- 自己点検の結果、改善すべき点があれば、手順書を見直します。
- 自己点検と改善を繰り返し行い、農場評価規準の該当する項目について、取り組みができていることを確認してから、評価申請の準備をします。
- 組織、団体の場合は、内部監査を行い、組織、団体のGAP実践ルールへの取り組みができていることを確認してから、評価申請の準備をします。



リスク評価の仕方やGAPの実践方法など、各農林事務所やJAのGAP指導員に相談することができます。